

大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金 報告書

Outcome report

計画名 Plan	来日女性医療宣教師に関わる一次史料文献の探索と収集
氏名 Name	三木 恵里子
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	教育学研究科 教育学環専攻 博士後期課程 2 回生
渡航国 Country	アメリカ合衆国
渡航日程 Travel schedule	2024 年 3 月 24 日～2024 年 4 月 5 日

渡航計画の概要 Outline of the travel plan

渡航者は、明治期に来日した American Board 宣教師が行った女子教育について、とくに女性医療宣教師である Sara Craig Buckley と Mary Anna Holbrook に注目して研究している。宣教師が書いた書簡や、宣教師らが留学させた女子学生たちについての史資料を、アメリカ合衆国内の大学で探索し、収集する。

成果 Outcome

① Bentley Historical Library (University of Michigan, Ann Arbor)

Sara Craig Buckley の卒業生史料と、その夫・Edmund Buckley の論文を閲覧した。また、日本人留学生についても調査を行った。

② Archives and Special Collection (Mount Holyoke College)

Mary Anna Holbrook の卒業生史料と、戦前に日本から留学した学生たちの卒業生史料を閲覧した。日本の神戸女学院からの留学生については、まとまった量の史料を得られた。

新島襄が留学した Amherst College も訪問することができた。

③ Houghton Library (Harvard University)

American Board 宣教師が日本からアメリカ本部へと送った書簡の実物を閲覧することができた。マイクロフィルムでは見られない書簡や、不鮮明だった文字も読むことができた。

史料実物を見られたこと、実際に研究対象の人物らが学生時代を過ごしたキャンパスを訪問できたこと、そして各訪問先で研究者の方々とお話しできたことから、アメリカ史やジェンダー、教育空間について、これまでよりも広く、深く考えることができた。このことは、今後研究を進めていくための大きな動機となった。

今後の展望 Prospects for the future

宣教師の書簡については、文字起こしを行い、注釈と解説を付けて史料紹介の形で発表する。日本からの女子留学生については、日本国内での調査も踏まえて、人物研究を行う。その上で、両者を踏まえて、戦前期の女子教育についての論文を書く。

アメリカの大学では、女子学生や留学生の割合の多さ、福利厚生、キャンパスの構造や整え方、コミュニケーションの取り方など、日本の大学との違いを多く感じた。日本の学校がこれからどうあるべきか考え、女子教育についての歴史研究を基盤として新たな教育空間像を提案し、実現につなげられるように努める。